

主任児童委員連絡会活動紹介

栄区

栄区には7つの地区があり、14名の主任児童委員が和気あいあいと活動しています。毎月1回定例会を行うとともに、担当する小中学校へも毎月訪問して情報交換等を行っています。また、こんにちは赤ちゃん訪問員^{※1}を兼務している委員が多く、育児教室や地区別の子育てサロン等のお手伝いもしています。そのほかに、障がいのある方と中学生の交流の場である「ふれあい運動会」のお手伝いもしています。

栄区独自の活動として、毎月1回（8月休会）開催している「フリースペースさかえ」を紹介します。これは、学校が苦手な小・中・高校生と保護者のために居場所を提供する活動で、東日本大震災発災により中止した平成23年3月を除き、平成14年から毎月開催してきました。自由に好きなことをやって過ごし（最近では手芸やゲームが多い）、お昼にはおいしい手作りカレーを食べます。相談員（教育現場経験者）が常駐して、別室で保護者の話を聞いてアドバイス等してくれます。月1回だけの活動ですが、フリースペースが子どもたちにとっても保護者にとっても

ホットできる居場所となり、少しでも前へ進めるきっかけになってくれることを願っています。



皆で仕上げたジグソーパズル

ます。

もう1つ栄区独自の活動に「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」があります。これは、栄区が認証を受けたセーフコミュニティ^{※2}の事業の1つで、平成24年度から、主任児童委員と地域子育て支援拠点・区社協・区役所の4者協働で行っているものです。子育て世帯を温かく見守る地域づくりを目指して今までいろいろな取り組みを行ってきましたが、今年度は夏休みに中学生と赤ちゃんがふれあう体験をしてもらうことを企画しています。

今後も、各関係機関と密に連絡を取り合って信頼関係を築き、何かあったらすぐ動けるよう準備していきたいと思っています。さかえっ子の笑顔が少しでも広がることを祈っています。

今後は、各関係機関と密に連絡を取り合って信頼関係を築き、何かあったらすぐ動けるよう準備していきたいと思っています。さかえっ子の笑顔が少しでも広がることを祈っています。

栄区主任児童委員連絡会 代表 宮崎良子

※1 こんにちは赤ちゃん訪問員…生後4か月までの赤ちゃんの家庭を訪問する。市長より委嘱。

※2 セーフコミュニティ…安全・安心なまちづくりのための活動を、地域と行政が協働で、継続的に行っている地域のこと。セーフコミュニティ認証センターが認証。



ペットボトルの蓋で作ったでんでん太鼓

よこはま民児協だより

平成28年9月発行
横浜市民生委員児童委員協議会
横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-8618

No.35

関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会報告

平成28年7月14日（木）・15日（金）、さいたま市の「ラフレさいたま」にて、第76回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が開催されました。横浜市からは、理事・事務局11名が参加し、1日目は式典、記念講演、情報交換会、2日目は4つの分科会（第1分科会「次なる100年に向けた活動の方向性とそとのための環境整備について」、第2分科会「生活困窮者自立支援制度に関する民生委員・児童委員の取り組みについて」、第3分科会「児童委員活動を推進していくために」、第4分科会「災害時における民生委員の活動について」）にて協議を行い交流を深めました。

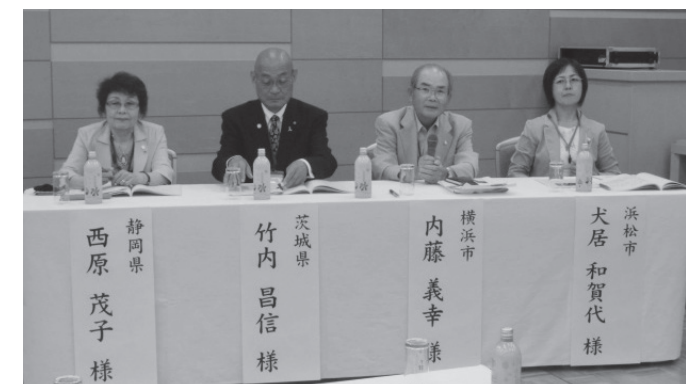
そのうち第3分科会では、横浜市を代表し、泉区の内藤義幸理事が実践報告を行いましたので、その内容についてご紹介します。

- ・泉区第3期地域福祉保健計画策定・・・「支え合い・助け合いが活きる！元気の出るまち泉」を基本理念とした計画の中で、子育て支援についても触れ、区、地区ごとにもネットワークが構成され様々な取り組みが進められている。
- ・泉区子育て支援ネットワーク・・・民生委員・児童委員、主任児童委員が、イベントやサロンの担い手として協力するなど積極的に連携し、子育て世帯を地域全体で支えられるよう取り組んでいる。
- ・「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」・・・泉区内全域の障害児・者と学生ボランティアと一緒にスポーツを楽しみながら互いに理解し合い、心を通わせる軽スポーツ大会が今年で25回目を迎えた。主任児童委員が昼食づくり等大会運営に協力している。

第3分科会のコーディネーターであるNPO法人さいたまユースサポートネット代表 青砥恭（あおとやすし）氏は、発表を受け、「横浜市の政策や地域での取り組みは一步も二歩も先を進んでいる。他都市が学ぶことも多い」とコメントされていました。



民生委員の歌「花咲く郷土」斉唱



第3分科会実践報告者の皆さん

平成28年春の褒章受章者紹介

本会理事の赤塚由子会長が藍綬褒章(社会福祉功労)を受章されました。
まことにおめでとうございます。

編集後記

このたびベテラン小宮山委員長のと今号から、広報紙作成委員長に就任しました神保修治（鶴見区）でございます。前委員長より3年間にわたりご指導いただき感謝申し上げます。熊本の震災では、まだまだ多くの方が復興に向け頑張っています。広報紙については、民児協活動をわかりやすく必要な情報提供を掲載していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
広報紙作成委員会 委員長 神保 修治

- 【委員長】 神保 修治
- 【顧問】 宮田 光明
- 【委員】 五十嵐輝子 江淵 武雄 橋本 邦子
吉田 敏一 青木 伸一 伊藤 紀子
浅井ゆき子

会長挨拶

横浜市民生委員児童委員協議会
会長 長谷川 正義



3年に一度の斉改選に向け各地域で推薦準備会が催されております。担い手不足が叫ばれている今日、担い手がないのではなく、民児協としても担い手を探す努力をしていかな

ければなりません。推薦母体でもある自治会・町内会と、より連携を深めていくことが大切です。来年は制度創設100周年を迎えます。全国では7月9日（日）に東京ビッグサイトで、そして横浜市においては11月15日（水）にパシフィコ横浜国立大ホールで記念式典を予定しております。地域に理解され、信頼される民生委員・児童委員として横浜市の地域福祉の中核となり活動して参りましょう。

区民児協活動報告 青葉区民児協

青葉区民児協は、現在288名の民生委員・児童委員と32名の主任児童委員が16の地区に分かれて地域福祉を支える活動を行っています。

まず大きな活動としては、①70歳以上のひとり暮らし

や高齢者のみの世帯・その他支援を必要とする高齢者についての日常の見守り、②災害時に避難が難しい高齢者や障害のある方を対象とした緊急時に対応するための「支えあいカード」の作成と「あんしん情報ボトル」の配布、③24年度から始まった「ひとり暮らし高齢者『地域で見守り』推進事業」による75歳以上のひとり暮らし高齢者の把握と訪問を行っています。これらの活動に加え、地区での食事会やサロンを連携させていくことで、地域での高齢者に対する効果的な見守り支援を広げています。

また、主任児童委員の特色ある活動として、「ストップ・ザ・犯罪」と題した講演会を毎年企画し、小中学校のPTAに参加を呼びかけ、子どもを取りまく社会における問題や思春期の子どもの心に向き合って考えていく機会

を提供しています。

研修については全委員が2日間にわたり5～6人程度に分かれて行うグループ別研修や地区研修など少人数の単位での研修を重視しスキルの向上を図っています。

さらに、啓発活動としてジャンパーとのぼり旗を作成し、区民まつりで活用しています。民児協ブースではコーヒーと民児協せんべいを提供し、活動紹介のパンフレットを渡すとともに、今後の活動の参考とするため、アンケートを実施しています。

これから青葉区でも急速に高齢化が進み民生委員・児童委員の存在はますます重要になってきます。しかし一方、担い手を探すことが困難になってきている状況もあります。多くの人に活動を知ってもらい、また支えあいを進めることで地域でのつながりが生まれ、だれもが安心して暮らせる青葉区となることをめざしていきます。

青葉区民児協 会長 赤塚 由子



区民まつり 民児協ブース

地区民児協活動報告 (青葉区谷本地区)

民児協としての活動は、年々複雑かつ多岐にわたっていると痛感しています。そんな中一人ひとりが自覚を持ち責任と誠意ある活動を続けていくためには、スキルアップを目指す必要が不可欠と考え、毎月一回開催の定例会の際に各種学習の時間を持ち、委員活動に対する研さんを続けています。

主な内容は、懇話会(自治会長さんや地域ケアプラザ職員さんとの情報交換など)、施設見学(有料老人ホーム・障害者支援センターなど)、研修会(傾聴「幸せを呼ぶ聞き上手」・「高齢者の社会参加について」など)、勉強会(事例報告会・えくぼクラブ寸劇「障害当事者の思い」)、講習会(毎年続けている「AED」の扱い方)。

これらの学習により民児協が抱える各種問題への対応に少しでも役立つのではと考え、続けています。各委員も新任のころに比べて次第に自信が付き、熱心に見守りなど活動への力を発揮しています。また委員同士の交流も深まり互いに助け合い、良い雰囲気での活動を続けさせていただいています。



定例会のようす

地区民児協活動報告 (青葉区山内地区)

山内地区は、青葉区の中でも子どもが多い地域です。地区民児協では、地域ケアプラザに協力をいただき、2つの「子育てひろば」を運営しています。2つの「ひろば」では、地域子育て支援拠点「ラフル」による「出張ラフル」をはじめ、区内の子育て支援の資源との連携や、区の保健師さんや栄養士さんに来ていただいて、ママたちが気軽におしゃべりする会なども開催しています。また、夏休みには、「子ども会」とのコラボで「小学生と赤ちゃんのふれあい」を計画しています。このように、「ひろば」はママたちの憩いの場所としての役割ばかりでなく、地域をつなぐ場にもなっています。

今年度から地域ケアプラザで、小中学生の支援として「子ども食堂 たまブラごはん」が始まりました。地域のボランティアの方々为主导で、たくさんの協力で作り上げた心温まる食堂です。

これからも、子どもたちにみんなで目をかけ、そしてつなげ、その輪が自然と広がっていくようにバックアップする活動ができたらと思います。



子育てひろばのようす

地域全体で取り組む支えあいの仕組みづくり

民生委員・児童委員(以下、民生委員)は、「身近な地域のつなぎ役」として、支援を必要としている方の相談に応じ、福祉サービス等の情報提供を行ったり、利用を支援したりするなどの活動を行っています。民生委員は見守り等により把握した方のニーズを区役所や地域ケアプラザなどの関係機関や地区社会福祉協議会(以下、地区社協)、自治会・町内会などに働きかけ、支えあいの仕組みづくりに関わるなど、つなぎ役として期待されています。例えば、民生委員は自身が関わっている高齢者サロン、子育てサロンなどへ地域住民を参加につなげたり、参加者の中から気になる方を関係機関・団体につなぐなどの役割で関わっています。

高齢化の進展により、地域での見守り・支えあいが大切なものとなっており、地域全体での取組みが必要になっています。地域の「気になる人」の情報が地域のボランティア等から民生委員に寄せられる仕組みが必要です。

そこで今回は、民生委員と地区社協、自治会・町内会が連携し、見守り・支えあい体制づくりに取り組んでいる地区の活動を紹介します。

菅田安心ボランティアと地区民児協の連携について

平成23年度に菅田地域ケアプラザで「こんにちはボランティア講座『おうちの中の困りごとSOS』」を開催、それをきっかけに地区社協では、受講者が空いた時間を活用してボランティア活動をしていただく、「菅田安心ボランティア」という、地区ボランティアセンターを立ち上げました。平成27年度には草刈りや室内清掃など、計52件の依頼に対応しました。地域包括支援センターやケアマネジャー経由の依頼が多い中、最近では地域での訪問やサロン等の地域活動での周知をきっかけとした依頼も増えていきます。地区民児協は、ニーズの把握と地区ボランティアセンターへの依頼、活動後の地域での見守りを担当しています。地区社協の実施するサロンや地区ボランティアセンター等の活動と民生委員が行う訪問活動等が連動し、地域全体での支えあいが広がっています。

(神奈川区菅田地区)



菅田安心ボランティア発足式のようす

支えあいサポーターと民生委員・児童委員の連携について

港南区日野南地区では、「支えあいサポート」という地域全体での見守りや支えあいの仕組みにより、地域住民と民生委員が連携した活動を行っています。この取組みは、日野南地区支えあいネットワーク(連合自治会、各自治会、地区社協、地区民児協、各種委嘱委員、各種団体、小中学校、地域ケアプラザ、区社協、区役所)で進めているもので、地域福祉保健計画の地区別計画においても柱として位置づけられています。地域全体での見守りや支えあいという趣旨に賛同した地域住民が「支えあいサポーター」として登録し、日頃の近隣のおつき合いの中で気づいたことを地域の民生委員に伝えています。また、担当地区民生委員と支えあいサポーターとの情報交換会を開催し、気づいたことを話し合っています。

日野南地区は高齢化が進んでおり、地域ぐるみの支えあいが必要になっています。地域住民が少しずつ気にかけることにより、地域全体での見守りの目が広がっています。

(港南区日野南地区)



日野南地区キャラクター

熊本地震 民生委員・児童委員支援募金 報告

このたびの熊本地震においては、熊本県を中心に甚大な被害が発生しており、負傷、また住宅被害を受けた民生委員・児童委員も多数に上っています。心よりお見舞い申し上げます。

自らも被災しながら献身的に活動されている民生委員・児童委員に対する支援のため、全民児連で実施している「熊本地震 民生委員・児童委員支援募金」に横浜市民児協から7月に1,826,448円を送金させていただきました。多くのご協力をありがとうございました。